



ぶかぶか漂う  
第26回

## タイ人ってどんな人? 日本人ってどんな人?

微笑みの国というキャッチフレーズが付いているタイですが、別に誰も微笑んでないじやん、と思つてしましました。売り子さんの顔もどちらかといえば、むしろ不愛想。最近その理由を知ったのですが、タイ人は愛想笑いをしないそうです。気持ちに正直な人たち。一見不愛想でも、こちらから一步踏み出して話しかけてみれば、やさしい笑顔が返ってきます。あれこれ聞いてないことまで教えてくれます。何を言っているのか雰囲気でしか分からないです。その笑顔は心からの笑顔と知ったので、笑顔を向けられるとかなり嬉しいです。タイ語が話せるようになりたいなあ、と思うようになりました。

コロナの状況はどうと、未だ多くの新規感染者が出ていますが、どうやらタイもウイズコロナに舵を切り始めた模様。日本と違うのは、家庭内の簡易抗原検査が日常的になったことでしょう。長男長女の学校

ワクチンのメーカーにこだわるよりも、とにかく早く打ちたいと思う人が多いです。欧米のようにマスクをしない自由を主張するようなことは考えられません。感染がこわいからマスクをするし、ワクチンを打ちます。アルコールスプレーを持ち歩き、現金にも吹きかけます。

一年間タイで暮らしてみて思うことは、タイ人はすごく素直。そして怖がり。ちょっとかわいいなあと感じるほどです。

### 外国で暮らすということ

日本人は日本に暮らす外国人からどう思われているでしょうか。

私は日本に住むロシア人の友人がいます。先日、その友人の娘が同じ中学の生徒から「ロシアに帰れ」と、学校で言われたそうです。外國に暮らすというのは時に無理をして我慢をして、時に不安を抱えて生きています。親戚も長い付き合

は週二回、家で検査をして写真を撮ります。その写真がないと学校に入れません。次男の学校は週一回検査をして実物を提出します。

検査キットは薬局やコンビニで手軽に買えますが、五人家族だと消費量が多く、かなりの出費。それで最近は安く買えるネット注文をするようになりました。一つ二百五十円程度。おそらく中国から陸路でどんどん運ばれているのでしょう。日本だから品質の承認とか厳しそうですけどね。タイでは確實ではないことを承知の上で使用されています。

大人の三回目のワクチン接種も五ヶ月。十二歳の子供のワクチン接種も進んでいます。一般的なタイ人は一回目のワクチンで中国製を打った人が多いですが、二回目からアストラゼネカやファイザーが推奨されるようになります。いろいろもうチャンポンです。お金で融通をつけて、四回接種済みのタイ人も珍しくありません。

いの友人もいない地では、例え自分 の体調が悪い時でも子供の世話をお願いできる人はいません。言葉が流暢に分からないので、緊急のニュースも理解できません。事情があるとはいえ、自分で選んだ道なので、自分でなんとかして暮らしています。今までだってそういうのに、コロナがあり戦争があり。胸の内を想像するとざわざわします。

日本人は勤勉で礼儀正しく、親切。外国人からそう言つてもらうこの方が圧倒的に多いです。長引くコロナのストレスなどで、時代が逆戻りなんかしませんように

**文・写真  
小宮華寿子**  
二男一女の母で  
編集者。「プラ  
ジルの手しごと」  
(メイツ出版)著者。世界の雑貨と  
ワークショップの店「マルカジーニョ」  
(<https://mercadinho.net>)代表。

**イラスト・  
デザイン  
寺沼麻美**  
切り絵作家、時々  
デザイナー。「ゆ  
らゆらゆれる北欧風手作りモビ  
ール」(ネコ・パブリッシング)を監修。